



教育ひので

令和7年3月1日発行
第162号

発行 日の出町教育委員会
〒190-0192 西多摩郡日の出町平井2780
年3回発行(7.11.3月)
電話 042-588-5427

青少年健全育成会事業

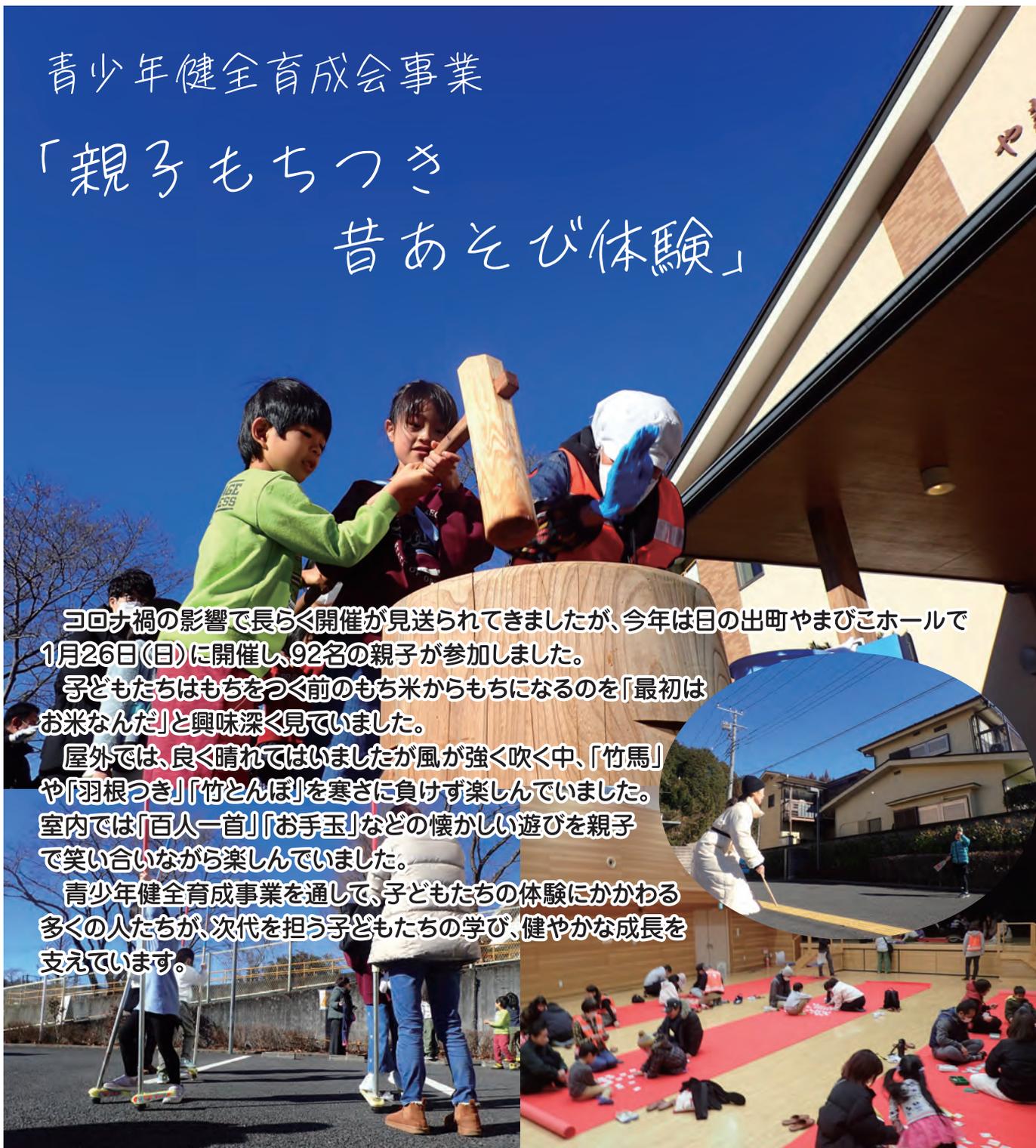
「親子もちつき 昔あそび体験」

コロナ禍の影響で長らく開催が見送られてきましたが、今年は日の出町やまびこホールで1月26日(日)に開催し、92名の親子が参加しました。

子どもたちはもちをつく前のもち米からもちになるのを「最初はお米なんだ」と興味深く見ていました。

屋外では、良く晴れてはいましたが風が強く吹く中、「竹馬」や「羽根つき」「竹とんぼ」を寒さに負けず楽しんでいました。室内では「百人一首」「お手玉」などの懐かしい遊びを親子で笑い合いながら楽しんでいました。

青少年健全育成事業を通して、子どもたちの体験にかかわる多くの人たちが、次代を担う子どもたちの学び、健やかな成長を支えています。



平崎教育長に聞きました。日の出町の教育の姿。

「共に学び 支え合い みんなで創る日の出町の教育」を合言葉に！

令和6年12月15日付で、日の出町教育委員会教育長に就任した平崎一美教育長に、日の出町の教育について聞きました。

—ひらさき かずみ—

昭和43年生まれ、56歳。練馬区立小学校で教員生活をスタート。3校の小学校で学級担任として子どもたちと共に過ごし、都内公立学校3校で学校管理職を勤め、20年間の教職生活を送った。また、杉並区教育委員会指導主事、統括指導主事、杉並区立済美教育センター所長、日の出町教育委員会学校教育課指導室長として約12年間、教育行政に携わる。



教育長に就任して2か月を過ぎましたが、今の心境を聞かせてください。

私は、教職生活20年間、学校教育に携わってきました。子どもたちの声、息遣い、表情とともに過ごし、出会った子どもたちの成長を目の当たりにしてきました。

教育長となった今、目の前に子どもたちの姿はありませんが、子どもたちの学びや成長を思い浮かべるとともに、できるだけ子どもたちに会いに学校を訪れたり、様々な行事やイベントに参加したりしていきたいと考えています。

教育という営みは、子どもの学びや成長を支えるためだけでなく、人が生涯にわたって学び続け、やりがいや生きがいをもって豊かな生活を送るための大人の学びを支えるための営みでもあると考えています。

就任後2カ月が過ぎ、日の出町の町民の皆様の豊かな学びや生活を教育の力で支えるという責任の重さを実感するとともに、小さな歩みかもしれませんが、一步一步、着実に未来に向けて日の出町の教育を育てていきたいという思いを強くしています。

平崎教育長が思い描く日の出町の姿を教えてください。

これからは、予測困難で不確実性が高まる時代と言われ、教育を取り巻く環境は、急激に大きく変化していきます。

このような今と未来を生きる人々、特に、次代を担う子どもたちには「かかわり」や「つながり」を大切にし、地域、社会、自然、多様な人々と共に生き、夢や希望の実現に向けて、志をもって、自らの道を切り拓いていくことができるように学んでいってほしいと願っています。

日の出町教育委員会では、人々の学びや成長を支える教育という営み、その可能性と力を発揮することができるように「共に学び、支え合い、みんなで創る日の出町の教育」を合言葉に取組を進めています。

予測困難な時代と言われ、AIの時代が目前に迫る今日、困難なことを人任せにせず、当事者意識をもって自らかかわり、一人でできないことはかかわる人々と力を合わせ、次代を創り出していく主体者として、これからの日の出町の教育をみんなで考え、育てていきたいと考えています。



平井小学校2年生の図工の授業参観で、子どもたちの作品制作の様子を見つめる平崎教育長

町民の皆さんへのメッセージをお願いします。



平崎教育長は、授業参観後、子どもたちと一緒に給食の時間を過ごしました。

子どもは家族の愛情に生まれ、学校での多様な活動を通して学び、地域の自然、歴史や文化、人とのふれあいの中で成長していきます。また、人は誰もがより良く生きたい幸せになりたいという願いをもち生涯にわたって学び続けます。

このような人の学びを豊かにして、やりがいや生きがいをもって生活を送ることができるようにするため、日の出町の教育を担う全ての人々と垣根を超えて協力し、それが「共に学び、支え合い、みんなで創る日の出町の教育」の実現、ひいては、日の出町にらす人々の学びや成長を支え、幸せにつながるよう、皆さんと共に日の出町の教育を創っていききたいと心から願っています。

どうか、今後とも日の出町の教育に、ご理解、ご協力をお願いいたします。

スポーツ推進委員主管事業



「小中学生スケート教室」

11月10日（日）に「小中学生スケート教室」を開催しました。

この事業は毎年、定員を超える申し込みがある人気事業です。みんなで東大和スケートセンターまでバスで移動し、講師に東京女子体育大学スケート部の方々をお迎えし、優しく丁寧に指導していただきました。参加者は、寒さも忘れスケートを楽しみました。

教室の終わりには、スケート部の方々の優雅な演技を身近に見せていただき、思い出に残る教室になりました。



「東京都市町村ボッチャ大会」

1月25日（土）に「東京都市町村ボッチャ大会」が町田市の体育館で開催されました。

ボッチャは障がいの有無や年齢・性別に関係なく誰でも楽しめるスポーツでパラリンピックの種目にもなっている競技です。

多摩地域の市町村で連携し開催している大会で、28市町から55チーム約200人が出場しました。

日の出町からも6月に開催したボッチャひのでちゃんカップを勝ち抜いた2チームが出場し、1チームは惜しくも予選敗退してしまいましたが、1チームは決勝トーナメントに進み、見事ベスト16まで勝ち進みました。来年度は青梅市が会場となりますので是非ご注目ください！



秋川流域子ども体験塾主催事業

「秋川流域小中学生駅伝大会」

12月14日（土）に「秋川流域小中学生駅伝大会」を開催しました。

この大会はあきる野市・日の出町・檜原村の3市町村合同で行う大会で、日の出町からは駅伝が11チーム、ロードレースに6名参加がありました。

駅伝では大久野小のチームが1位、3位、8位、平井中のチームが2位、5位入賞、平井小の児童は区間賞を受賞しました。

ロードレースでは本宿小の児童が1位、3位に入賞を果たし、日の出町の小中学生が頑張った大会となりました。





平井小学校

平井小学校の福祉教育

平井小学校の3・4年生は総合的な学習の時間で「福祉教育」を行っています。

3年生は、10月に学校の近くの介護老人保健施設「ウエルピア白寿」に訪問をして、施設の様子や1日の流れなど、様々なお話をお聞きしました。また、車いす体験もさせていただきました。

12月には、「認知症サポーター養成講座」を行いました。社会福祉協議会の方をゲストティーチャーにお招きし、認知症について、副読本や劇を通して、分かりやすく教えていただきました。

1月には、2度目の「ウエルピア白寿」の訪問をさせていただきました。交流をしました。子供たちが紙芝居の読み聞かせやソーラン節、け

ん玉の披露など、班ごとに出し物を発表したり、歌やリコーダーの演奏も聞いていただいたりしました。利用者の方々はこの発表にも「まあすてきね。」「お上手ね。」「かわいらしいね。」「手をたたきながら喜んでくださり、その温かい反応に、子供たちも笑顔で満足そうにいました。

4年生は、1月に日の出町社会福祉協議会の方、町内の社会福祉施設の方にご協力いただき、「車いす体験」を行いました。子供たちは、車いすに乗る、車いすを押す、周囲の安全を見守るの3つの役割を体験しました。体験する中で、車いすに乗る人や車いすを押す人の気持ちを考えて、体験をしました。また、今まで気にしていなかったような段差や坂が、障壁になることを実感していました。

◆ 平井小学校のホームページを下の二次元コードからご覧ください。学校での児童の様子を平井小新ブログ(公式note)で掲載しています。



3・4年生の福祉教育の一環で行った貴重な体験が、共生社会の一員としての自覚と人に優しく接したいという心の成長を育みました。

大久野小学校

アーティスト訪問交流授業 『丸だけでかこう!』

1月27日(月)、青梅市在住のアーティスト酢平☆(すっぺ)さんをゲストティーチャーに招き、5年生の図画工作科で交流授業を行いました。授業は酢平☆さんの持参した絵画作品をじっくり鑑賞し、思ったことや発見したことをみんなに発表することから始まりました。

その後、丸だけで構成された酢平☆さんの作品をヒントに、アクリル絵の具を使って丸だけで描く作品づくりに挑戦しました。子供たちは表現の奥深さを感じながら、真剣な表情で、普



段以上に集中して作品づくりをしていました。

アーティストの思いや考えを直接聞くことのできる今回の授業は、アーティストと交流して

こそ得られる豊かな時間でした。この体験をした子供たちが、今後どのような表現をしていくのかとても楽しみです。

本宿小学校

健康・ケアに関する学習（5年生）

12月5日から東京大学大学院医学系研究科の先生方と本宿小の教員が連携・協働して授業を進めてきた「健康・ケアに関する学習」の一環として、本学習に共感・参加してくださったっている協同乳業の東京工場（日の出町）を見学してきました。

協同乳業東京工場で、牛乳をはじめとする様々な乳製品がどのように作られているかを、工場の方から丁寧に説明していただいたり、生産ライン等を実際に見せていただいたりして、貴重な体験・学習をすることができました。

その後、本宿小に戻ってきてから、協同乳業研究所の方にゲストティーチャーとしてご来校いただき、ヨーグルト開発に焦点をあてて、この「健康・ケアに関する学習」に直結する腸内環境の研究について、児童が自分事として受け入れやすいように「ウンチ」をキーワードにしてとても分かりやすく教えていただきました。

児童は、自分たちの健康な生活に協同乳業で研究・開発・製造されている食品が関わっている地域の人々・会社等が自分たちの健康を支えている（ケアしている）というつながりに気付くことができました。

協同乳業の皆様、お忙しい中ご対応いただき誠にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。



本宿小学校
ホームページ
二次元コード



平井中学校

1・2年生スキー教室

今年度は、コロナ感染拡大防止の影響でずれていたスキー教室の実施学年を元の1年生に戻した関係で、1年生と2年生が同じ年度で実施することになりました。まず2年生が1月19日（日）と21日（火）、続いて1年生が2月2日（日）と4日（火）に新潟県の岩原スキー場に行ってきました。

先発の2年生、1日目はバスで関越トンネルを抜けた一面の雪景色に大興奮。快晴で絶好のコンディションのもとスキー実習がスタートしました。2日目、3日目も晴天で、インストラクターの先生に教えられるながらスキー



1十分に楽しみました。2日目には、実習後のゲレンデでのソリレースや雪合戦、それに続く宿舎内でのジェスチャーゲームや親子ゲームなど、実行委員の生徒が考えたレクリエーション大会で盛り上がりました。

後発の1年生、小雨模様での学校出発になりましたが、スキー場に到着して実習がスタートした頃には穏やかな曇り空から日差しも見られました。2日目も快晴、3日目は雪の降るなか、インストラクターの先生に教わりながらスキーも上達しました。1年生も2日目はレクリエーション大会です。ゲレンデでの雪上リレーやスノーフラッグなどに続き、宿舎



内での有志によるコントや実行委員手作りのカードによるitoで盛り上がりしました。スキー実習や宿舎での生活で集団行動の大切さを学び、学年としての団結力が高まった1年生。そして、来年度の修学旅行に向けて一回り大きく成長した2年生。共に思い出深い3日間の経験を生かし、これまでに以上に活躍してくれることを期待しています。



移動教室（1月29～31日）

1年生にとっては中学校初の宿泊行事である移動教室（スキー）が行われました。

講習場所である岩原スキー場は降雪にも恵まれ充実した3日間となりました。とは言うものの、目まぐるしく変わる山の天気自然の厳しさを味わった生徒も多いようです。

活動での活動で、それは



地域調査（1月24日）

それぞれの生徒が与えられた役割をこなしながら課題を発見し、改善していくという取組が行われ、出発前よりレベルアップした形で日の出町に戻ってくることができました。

穏やかな気候のもと、2年生の校外学習（都内巡り）が行われました。「その土地の「美」や「課題」を見つける」という目的のもと、上野を中心に都内を散策しました。班ごとに計画を立て、行動する形での探究学習は第1学年で行われた「ふるさと地域調べ」から続き、最終的には第3学年の修学旅行に繋がっています。生徒もそのことを意識しながら行動し、東京の風情を様々な角度

から感じ取ることができました。

1学期から現在まで、様々な体験学習を実施するとともに、事後学習を進めてきました。この成果は令和7年3月4日に予定されている総合発表会で披露する予定となっています。



部活ガンバッテマス!!

大久野中学校

テニス部

テニス部は現在、2年生3名、1年生9名の計12名で活動しています。引退した3年生以上の結果を残せるよう、まずは関東大会に出場することを目標に日々練習に取り組んでいます。チームでのコミュニケーションを大切にするため、練習は全員が意識して声を出し、協力しながら取り組んでいます。日が短い冬の練習では、ハードなトレーニングを部員同士で鼓舞しあいながらこなしています。また、大会や練習試合では、元気よく挨拶をして、気持ちよく試合に入れるよう、全員で取り組んでいます。



新チームが始動してからは、8ブロック新人大会で優勝、都大会準優勝という結果を残すことができました。半年後の選手権に向けて、全員で戦うチームの姿が

少しづつ見えてきました。大会で結果を残すことも大切ですが、選手としてチームとしても成長していけるようにこれからも頑張っていけます。応援よろしくお願いします。

大久野中学校

陸上部

大久野中学校陸上部は、3年生5名(現在は引退)、2年生13名、1年生12名の計25名で活動しています。

活動内容は前期と後期に分けられており、前期は短距離、中距離、長距離、そして走り幅跳など、自分の記録を伸ばしていきたい種目に分かれて、各大会に向け、各々練習を重ねて大会に挑戦しています。

後期は種目に分かれず、長距離を中心に活動し、仲間たち全員で助け合い練習に励んでいます。



平井中学校

男子バスケットボール部

男子バスケットボール部は、2年生16名、1年生14名の合計30名で活動しています。「礼儀」「時間」「向上心」を大切にして、日々の練習に励んでいます。活動は火、水、金に体育館で行っています。先輩後輩関係なくとも仲が良い部活です。初心者が多い部ですが、お互いに競い合ったり、教え合ったりすることで、技術的にも精神的にも成長しています。

まだまだ課題の多いチームですが、仲間たちと知恵を絞りながら、一歩一歩進んでいきます。

応援よろしくお願いします。



平井中学校

野球部

野球部は「仲間を大切にせよ」「道具を大切にせよ」「目指せ全国大会」を掲げて、人から応援されるチームを目指しています。

野球が他の球技と違うのは、野球だけ人間が得点になることです。ボールがゴールに入る、ボールが地面や床に落ちると得点する球技とは違うので、そこに選手の生き方が出ます。野球をしている時間には、野球をしていない時間の生き方が表現されていくことを何度も伝えていきます。野球を通して生き方を日々学んでいます。

野球を続けようとしている人はもちろんのこと、中学生になつたら何か部活動を始めようと考えているなら、ぜひ



野球部で待っています。野球を通して生き方を磨き、人から応援されるチームを目指していきます。よろしく!!



町の小学生が
図書館見学に
来てくれました！

昨年10月29日に大久野小学校3年生、11月13、21日に本宿小学校2年生、12月10、11日に平井小学校2年生が図書館見学に来てくれました。

班ごとに図書館内を巡り、自動（セルフ）貸出機やOPAC（蔵書検索システム）の使い方、図書館入り口のICゲートなどの紹介をしました。貸出処理をしていない本が持ち出されると、ゲートでメッセージが流れ、カウンターのパソコンに本のデータが表示されるしくみに、みな感心していました。

館内を巡った後は、図書館内でのマナーなどを説明し、子どもたちからの質問に答えました。「図書館には本が何冊ありますか？」という質問で、92,798冊の蔵書があることを伝えると、どの学校の子どもたちからも驚きの声が上がっていました。また、以前に図書館の本のページが切り取られてしまったことがありました。そのため、現物の本を見せながら「図書館の本は大切に読んでほしい」と伝えました。見学をきっかけに、図書館をもっと利用してくれることを職員一同願っています。



館内の探索



ページが切られてしまった本

「冬のおはなし会」を
開催しました！

12月12日（木）幼児・14日（土）児童を対象に「冬のおはなし会」を開催しました。

当日は、ペープサート、マジックショー、わくわくシアターなど、いつもとは違うおはなし会で盛り上がりました。

数か月前から企画を練って、ブラックライトを使ったパネルシアターや、ロールシアターも行い大人も子どもも笑顔に包まれた、とても楽しい会になりました。



わくわくシアターの様子

新年 本の福袋・本の
おみくじを開催しました！

1月7日から、今年も「本の福袋・本のおみくじ」を開催しました。

福袋は大人向けで、図書館員が各々選んだテーマに沿った本2冊をトートバックに入れ、利用者にはテーマから借りたい本を選んでいただきました。

おみくじは子ども向けで、おみくじの箱から引いた紙に書いてある番号と対応した袋を貸し出し、借りてみるまで中身が分からないおたのしみ企画としました。どちら

も大人気で利用された方からは、「普段読まない本を読んだらとてもよかったです。素晴らしい本だったので子供に買ってプレゼントした」という感想をいただきました。

新しい本と出会う機会になりました。幸いです。



本の福袋



本のおみくじ

教育長の就任・退任

【就任】日の出町教育長



平崎 一美

令和6年12月15日 就任

任期 令和6年12月15日から令和9年12月14日

【退任】



小林 道弘

令和6年12月14日付で、小林教育長が退任されました。小林氏は、平成26年12月15日から10年間にわたり町の教育行政にご尽力をいただきました。

ここに改めて、そのご尽力に御礼申し上げ、皆様にご報告いたします。

令和7年 日の出町 二十歳を祝う会

1月13日(月・祝)にイオンモール日の出イオンホールで、日の出町二十歳(はたち)を祝う会を開催し、109名の二十歳の若者が参加しました。

二十歳の皆さんはコロナ禍もあり、様々な苦労を経験されてきたことと思います。多くの方に支えられてこの日が迎えられたことを感謝し、明るい明日に向かって前進してください。

日の出町の将来を担う皆さんの、限りないご多幸とご活躍を心からお祈りしております。



日の出町教育委員会表彰式

教育委員会では、長年教育行政にご尽力いただきました方々に対して、昨年12月1日、役場第1、2会議室において、表彰状の伝達式を執り行いました。

受賞された皆様におかれましては、長年ご尽力を賜り誠にありがとうございます。今後も、教育行政にお力添えを賜りますようお願いいたします。

表彰された方々をご紹介します。



氏名 (敬称略)	主要経歴・役職名
清水 郁子	日の出町立図書館業務
田中 太子	日の出町社会教育委員
松尾 欣治	日の出町青少年健全育成会理事
橋本 修一	日の出町青少年健全育成会理事
森谷 直樹	日の出町青少年健全育成会理事

「令和6年度 東京都小学生科学展」 優秀賞に入賞

平井小学校第6学年青柳 賢史さんが、夏休みの自由研究をもとにまとめた「卵はどう変わるかな」が東京都小学生科学展に、日の出町の代表として選ばれ、優秀賞に入賞されました。

3月14日(金)まで、役場1階エントランスホールに作品を展示しますので、ぜひご覧ください。

